



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所 東
 コード番号 9882 URL <http://www.yellowhat.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 孝二 (TEL) 03-5695-1602
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	53,552	△3.6	2,955	14.0	3,456	8.2	2,794	△16.2
25年3月期第2四半期	55,575	15.0	2,593	△11.7	3,194	△9.7	3,333	25.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,910百万円(△11.0%) 25年3月期第2四半期 3,269百万円(23.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	123.31	123.23
25年3月期第2四半期	140.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	77,977	49,448	63.4	2,180.58
25年3月期	82,122	46,950	57.2	2,068.77

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 49,425百万円 25年3月期 46,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
26年3月期	—	18.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,552	0.9	7,755	9.6	8,556	5.0	5,894	△2.7	260.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の修正については、平成25年10月31日に発表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	24,961,573株	25年3月期	24,961,573株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,295,190株	25年3月期	2,266,607株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	22,666,554株	25年3月期2Q	23,724,270株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

・当社は、平成25年11月12日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融緩和策や経済対策への期待感から円安・株高基調が維持され、輸出関連企業を中心として企業収益は緩やかに回復しつつあるものの、長らく欧州経済の低迷や中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響により、依然として不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、軽自動車・コンパクトカー向けバッテリーや低燃費タイヤの販売が好調に推移した一方、前年度の新車販売増加に伴う関連商品需要増の反動やナビゲーションの販売単価下落等があり、厳しい経営環境となりました。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力事業であるカー用品等販売事業の一層の拡大を図るべく、テレビCM等広告宣伝の強化に努めるとともに、タイヤを中心とした消耗品の拡販や、車検・钣金・ポリマーコーティングなどのカーメンテナンスメニューの拡充推進を強化してまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、各種営業施策を実施し既存店の収益力強化に努めましたが、売上高は前年同期比20億22百万円(3.6%)減少の535億52百万円となりました。売上総利益は前年同期比3億39百万円(2.1%)増加の162億84百万円となりましたが、これは小売店舗数の増加、2りんかんの好調な推移、売上原価の低減に努めたこと等によるものです。

また、販売費及び一般管理費は、小売店舗数は増加したものの、一部子会社の本部体制見直しの効果等により、前年同期比22百万円(0.2%)減少の133億29百万円となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比3億61百万円(14.0%)増加の29億55百万円、経常利益は前年同期比2億61百万円(8.2%)増加の34億56百万円、四半期純利益につきましては、前年同期比5億38百万円減少(前年においては負のれん発生益20億27百万円を計上)の27億94百万円となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、卸売部門は前年同期比17億41百万円(6.0%)減少の272億円、小売部門は前年同期比2億42百万円(1.1%)減少の225億90百万円となりました。

②当期のセグメント別概況

当第2四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

<カー用品等販売事業>

当第2四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況につきましては、国内では平成25年5月にトレッド鴻巣店(埼玉県)、6月に呉宝町店(広島県)、7月に天草空港通り店(熊本県)、辻堂新町店(神奈川県)、北本中丸店(埼玉県)の5店舗を開店し、7月に天草本渡店(熊本県)の1店舗を閉店いたしました。

出店店舗のうち、トレッド鴻巣店、呉宝町店、北本中丸店の3店舗につきましては、居抜き物件による出店となっております。

イエローハット店舗以外では、平成25年6月にライダーズスタンド熊本2りんかん(熊本県)、9月にライダーズスタンド水戸2りんかん(茨城県)の2店舗を開店いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内がイエローハット564店舗、モンテカルロ12店舗、2りんかん40店舗、海外がイエローハット15店舗の合計631店舗となりました。

当第2四半期連結累計期間のカー用品等販売事業の売上高は、前年同期比19億63百万円(3.8%)減少の501億16百万円、セグメント利益につきましては、前年同期比3億54百万円(16.8%)増加の24億58百万円となりました。

<賃貸不動産事業>

当第2四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、前年同期比58百万円(1.7%)減少の34億36百万円となりました。一方セグメント利益につきましては、転貸物件の収益改善が進んだこと等により、前年同期比7百万円(1.6%)増加の4億97百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、368億65百万円(前連結会計年度末409億72百万円)となり、41億7百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が33億円、受取手形及び売掛金が11億25百万円減少したことによります。

また、固定資産の残高は38百万円減少し、411億11百万円(前連結会計年度末411億50百万円)となりました。

この結果、総資産残高は779億77百万円(前連結会計年度末821億22百万円)となりました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、201億31百万円（前連結会計年度末257億90百万円）となり、56億58百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が34億25百万円、その他（未払金など）が16億43百万円減少したことによります。

また、固定負債の残高は83億97百万円（前連結会計年度末93億82百万円）となり、9億84百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が8億49百万円減少したことによります。

この結果、負債残高は285億29百万円（前連結会計年度末351億72百万円）となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、494億48百万円（前連結会計年度末469億50百万円）となり、24億97百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益27億94百万円を計上した一方で、配当金を4億8百万円支払ったことによります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ33億1百万円減少し、40億52百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の収入は、28億19百万円（前第2四半期連結累計期間は40億40百万円の資金の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が38億12百万円、仕入債務の増加が14億57百万円あった一方で、法人税等の支払額が22億4百万円あったことによります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は、2億64百万円（前第2四半期連結累計期間は8億18百万円の資金の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が6億75百万円あった一方で、有形固定資産の売却による収入が4億57百万円あったことによります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は、58億55百万円（前第2四半期連結累計期間は50億円の資金の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が42億74百万円、社債の償還による支出が11億円、配当金の支払額が4億6百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績動向を勘案した結果、平成25年5月10日の決算短信で発表いたしました通期業績予想を修正しております。

詳しくは、平成25年10月31日に発表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結累計期間において、株式会社アップルの全株式を取得したことにより連結の範囲に含めております。また、株式会社アクティブを新規設立したことにより連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,381	4,081
受取手形及び売掛金	11,540	10,415
たな卸資産	12,117	13,072
その他	10,401	9,679
貸倒引当金	△469	△383
流動資産合計	40,972	36,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,236	28,328
減価償却累計額	△16,266	△16,555
建物及び構築物(純額)	11,970	11,773
土地	13,747	13,562
その他	4,603	4,577
減価償却累計額	△2,892	△2,806
その他(純額)	1,711	1,770
有形固定資産合計	27,428	27,105
無形固定資産		
ソフトウェア	140	119
その他	166	137
無形固定資産合計	306	256
投資その他の資産		
投資有価証券	1,463	1,613
敷金	9,568	9,761
その他	2,785	2,720
貸倒引当金	△402	△345
投資その他の資産合計	13,414	13,749
固定資産合計	41,150	41,111
資産合計	82,122	77,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,649	12,027
短期借入金	5,174	1,749
1年内償還予定の社債	1,200	200
未払法人税等	2,176	1,095
賞与引当金	665	721
ポイント引当金	380	436
その他	5,544	3,901
流動負債合計	25,790	20,131
固定負債		
社債	1,400	1,300
長期借入金	1,401	551
退職給付引当金	981	953
リース債務	1,227	1,219
資産除去債務	1,312	1,344
その他	3,059	3,028
固定負債合計	9,382	8,397
負債合計	35,172	28,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	10,006	10,006
利益剰余金	26,438	28,825
自己株式	△2,581	△2,608
株主資本合計	48,937	51,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	299	393
土地再評価差額金	△2,309	△2,309
為替換算調整勘定	23	44
その他の包括利益累計額合計	△1,986	△1,871
新株予約権	—	22
純資産合計	46,950	49,448
負債純資産合計	82,122	77,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	55,575	53,552
売上原価	39,630	37,268
売上総利益	15,944	16,284
販売費及び一般管理費	13,351	13,329
営業利益	2,593	2,955
営業外収益		
受取利息	97	73
受取手数料	93	157
貸倒引当金戻入額	252	142
その他	358	254
営業外収益合計	802	627
営業外費用		
支払利息	86	59
持分法による投資損失	42	49
その他	72	17
営業外費用合計	201	126
経常利益	3,194	3,456
特別利益		
固定資産売却益	177	255
負ののれん発生益	2,027	109
その他	7	0
特別利益合計	2,212	365
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	27	8
減損損失	1,162	—
その他	27	—
特別損失合計	1,217	9
税金等調整前四半期純利益	4,189	3,812
法人税、住民税及び事業税	1,387	1,022
法人税等調整額	△531	△4
法人税等合計	856	1,017
少数株主損益調整前四半期純利益	3,333	2,794
四半期純利益	3,333	2,794

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,333	2,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	94
為替換算調整勘定	16	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△0
その他の包括利益合計	△64	115
四半期包括利益	3,269	2,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,269	2,910
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,189	3,812
減価償却費	1,062	664
減損損失	1,162	—
負ののれん発生益	△2,027	△109
のれん償却額	15	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△275	△142
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	71	55
賞与引当金の増減額 (△は減少)	98	33
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	47	△28
受取利息及び受取配当金	△111	△88
支払利息	86	59
為替差損益 (△は益)	1	△14
持分法による投資損益 (△は益)	42	49
固定資産売却損益 (△は益)	△177	△255
固定資産除却損	31	8
売上債権の増減額 (△は増加)	2,225	820
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,100	1,457
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△789	△706
その他	△1,608	△663
小計	5,145	4,970
利息及び配当金の受取額	84	62
利息の支払額	△80	△60
法人税等の支払額	△1,168	△2,204
法人税等の還付額	59	51
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,040	2,819

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,914	△675
有形固定資産の売却による収入	2,152	457
無形固定資産の取得による支出	△0	△28
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,074	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	147
貸付けによる支出	△117	△100
貸付金の回収による収入	89	55
敷金及び保証金の差入による支出	△289	△331
敷金及び保証金の回収による収入	309	210
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	29	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△818	△264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△900	—
長期借入金の返済による支出	△2,274	△4,274
社債の償還による支出	△100	△1,100
リース債務の返済による支出	△125	△73
自己株式の取得による支出	△1,270	△0
配当金の支払額	△330	△406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,000	△5,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,779	△3,301
現金及び現金同等物の期首残高	5,841	7,354
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,062	4,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品等販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,079	3,495	55,575	—	55,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	52,079	3,495	55,575	—	55,575
セグメント利益	2,104	489	2,593	—	2,593

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カー用品等販売事業」及び「賃貸不動産事業」セグメントにおいて、当社が保有する土地等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、「カー用品等販売事業」182百万円、「賃貸不動産事業」979百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「カー用品等販売事業」セグメントにおいて、平成24年4月1日付で株式会社ドライバーズスタンドの全株式を取得し子会社化したことにより、負ののれん2,027百万円が発生しました。当該負ののれんは、当第2四半期連結累計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品等販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,116	3,436	53,552	—	53,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	50,116	3,436	53,552	—	53,552
セグメント利益	2,458	497	2,955	—	2,955

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「カー用品等販売事業」セグメントにおいて、平成25年4月1日付で株式会社アップルの全株式を取得し子会社化したことにより、負ののれん109百万円が発生しました。当該負ののれんは、当第2四半期連結累計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しております。